

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 [NO. 17-3] 2017年9月5日発行

横浜市中区桜木町3-9平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5654



9月20日 後期高齢者医療の保険料「不服審査請求」提出!!

後期高齢者医療制度の「特例軽減措置」の廃止により、多くの方の保険料が引き上がります。県社保協と年金者組合、高齢期運動連絡会の呼びかけに応じて、各地域で不服審査請求のつどいの開催がすすめられています。9月20日(水)13:00~横浜日経ビル2F会議室で、県に対して後期高齢者医療不服審査請求書を提出します。8月中の開催は、以下のとおりで、参加者からは保険料引き上げと制度の矛盾にたいする怒りが寄せられています。

対象地域	日時	参加人数・請求書提出
鎌倉	8月25日(金)	10人参加・10人提出
相模原	8月28日(月)14:00~	15人参加・数人提出(後日提出)
横浜①	8月31日(木)10:00~	12人参加・12人提出

9月の開催予定は、以下のとおりです。

対象地域	日時	会場
横浜②	9月7日(木)10:00~	みどり野診療所2F会議室
西湘	9月7日(木)13:30~	尊徳記念館301号室
平塚	9月12日(火)10:30~	平塚民商会議室
横須賀・三浦・逗子・葉山	9月12日(火)14:00~	ヴェルクよこすか会議室
藤沢・茅ヶ崎・寒川	9月13日(水)14:00~	医療生協かながわ藤沢診療所会議室

不服審査請求のつどい相模原 15人参加で熱い議論

年金者組合相模原支部協議会と相模原社保協の共催で、後期高齢者医療の不服審査請求のつどいが8月28日に開催し、年金者組合を中心に、15名が今年の保険料の通知書と印鑑を持って集まりました。まず「後期高齢者医療とは」の説明を受け、その後、不服審査請求書の記入方法を年金者組合県本部副委員長の伍さんが詳しく説明し、その場で申請書への記入をしました。コピーもとって完成し、提出したのは数人でしたが、後日多くの人の分を集めることになりました。参加者からは「後期高齢者医療制度そのものをやめさせたい」という意見が出されました。不服審査請求の運動についても、「どんな意義があるのか」など様々に意見が出され、「多くの方が声を上げなければならない」ことが強調されました。年金者組合の支部からは「組合員の6割が75歳以上、用紙を持ち帰って多くの人に訴えて書いてもらう」という意見も出され、用意した資料や用紙はすべて参加者が持ち帰りました。この日は同時刻に、広域連合協議会が相模原市内で開かれていましたが、被保険者の声が届かない議会の現状に不満と批判も出ました。<相模原市社保協代表 中屋重勝さんより>



「国保・介護」で、自治体要請・懇談をすすめよう!!

県社保協は、国保の都道府県単位化、介護の新総合事業の進行状況を中心に、全県で市町村への要請・懇談をすすめることとしています。国保と介護を中心に自治体への要請事項を話し合い、要請・懇談日について自治体との調整をすすめましょう。

県社保協・市町村国保調査を開始しました

県社保協として、2017年度の国保市町村調査票を、各市町村に8月末に発送しました。締切日は9月20日とし、10月14日開催の「全県国保改善交流集会」には集計結果を提出する予定です。

県より都道府県単位化に向けた「運営方針案」と「第3回試算」が出される

7月26日、神奈川県・国保運営協議会が開催され、県の国保運営方針（案）を確認しました。運営方針（案）は、都道府県単位化に向けての取り組み方針ですが、国保の保険者である市町村の権限を尊重するものとなっています。国保の運営方針は9月の県議会に報告され、市町村に送付され公表されます。

国保の都道府県単位化に向けた第3回目の標準保険料率にもとづく納付金試算が、8月30日に県から市町村に発送されました。県社保協としても取り寄せ、試算にもとづく市町村保険料額についての比較を早急に行います。なお、今回の試算は、国の追加補填の1700億円のうち1200億円をおりこんだもので、第2回試算から保険料は引き下がります。市町村の法定外繰入等は加味されていませんので、市町村との懇談で「法定外繰入の継続・増額」を要請しましょう。

県社保協の介護「新総合事業」市町村調査結果をまとめる

県社保協として、今年度からの「新総合事業」の取り組みの現状の市町村調査を行い、県内33全市町村から集約されました。その特徴は、多くの自治体が現行相当サービスの実施にとどまっておらず、緩和型事業には踏み切っていないという実情がうかがえます。9月中に調査結果の分析をまとめる予定で、各市町村との懇談に向けて活用できるようにします。

市町村では「第7期介護保険事業計画」と「地域包括ケアシステムの深化（我が事・丸ごと『地域共生社会』）」の策定準備をすすめています。この準備状況の説明を要請するとともに、介護職場の人手不足は深刻です。利用者が安心して受けられ、事業者・介護従事者が継続して事業が担えるようにするという観点から声を自治体に寄せましょう。

「県広域連合議会」県社保協の陳情を不採択に!!

8月28日に、県後期高齢者医療広域連合議会が開催されました。県社保協は、「特例軽減見直しの中止を求める意見書提出」と、「軽減特例見直しによる保険料負担増への軽減措置」を求める陳情書を提出しました。しかし、陳情は「不採択」とされました。

広域連合議会の議員定数は20人。日本共産党の白井正子議員（横浜市）が陳情に賛同の発言をしましたが、他の議員からはなんの発言もなく、「不採択」に同意しました。不採択の理由は、なんら明らかにされていません。傍聴は、県社保協から園田事務局次長、根本事務局長が参加し全体で15人ほどでした。

保険料に対する不服審査請求の推進など、後期高齢者医療制度の抜本的な改善を求める運動が必要です。

2017年原水爆禁止世界大会に参加して 立本ますみさん

核兵器禁止条約が国連で採択されました。核兵器を使ってはいけない、持ってもいけない、脅してもいけない、核保有国の手を縛る条約が実現しました。私は、自分が生きている間に核兵器を禁止する時代を見ることができた。ものすごく嬉しかったです。

三浦市三崎町は1954年、アメリカがビキニ環礁で行った水爆実験で多くのマグロ漁船が放射能に被爆



し、漁業の町は大きな打撃を受けました。以来、原爆の禁止を掲げ、核兵器廃絶平和都市宣言、記念モニュメント建立、ビキニ被災50周年・60周年の記念集会、8月のピースデーの取り組み、これらの運動を行政と市民が共同して取り組んできました。三浦では、平和運動を一緒にやってきた多くの先輩がこの事態を見ずに亡くなっています。

今年の大会は、「核兵器をなくしたいという努力が実った大会になる」、「参加しなきゃ、この時代を見ずに亡くなったみんなの思いも伝えたい」と、突如その思いが大きく膨らみ、急遽しばらくぶりの参加を決めました。希望あふれる大会でした。日本政府に条約批准させ、被爆者を世界のどこにもつくらせない運動を一層進めたいと思います。

＜三浦の医療と福祉を考える会 立本さんより＞

＜9月の主な行動・会議日程＞

- 9月7日（木）西湘地区・後期高齢者医療不服審査つどい 13:30 尊徳記念館 301号室
中央社保学校 13:30 リンクステーションホール青森（9/9まで）
- 9月10日（日）第33回神奈川労連大会 10:00 建設プラザ 2F ホール
- 9月12日（火）平塚地域後期高齢者医療不服審査つどい 10:30 平塚民商会議室
横須賀後期高齢者医療不服審査つどい 14:00 ヴェルクよこすか会議室
- 9月13日（水）中央社保協運営委員会 13:00 全日本民医連会議室
藤沢・茅ヶ崎・寒川後期高齢者医療不服審査つどい 14:00 藤沢診療所
- 9月14日（木）マイナンバー違憲訴訟口頭弁論 15:00 横浜地裁
- 9月15日（金）安倍政治 NO 9.15 昼デモ 12:15 横浜市庁舎くすのき広場
社保協第3回幹事会 14:00 保険医協会
「税と社会保障一体改革反対」全県一斉宣伝行動（集中日）
- 9月17日（日）神奈川県・海老名市母親大会 10:00 海老名市文化会館
- 9月20日（水）後期高齢者医療不服審査請求提出行動 13:00 横浜日経ビル 2F 会議室
全県一斉宣伝行動キャラバン（大井町～開成町～南足柄市～山北町～松田町）
- 9月21日（木）介護保険改善委員会 10:00 民医連会議室
- 9月22日（金）全県一斉宣伝行動キャラバン（中井町～箱根町～真鶴町～湯河原町）
消費税廃止県各界連定例宣伝 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 9月23日（土）生存権裁判宣伝行動 14:00 二俣川北口
- 9月26日（火）「国連核兵器廃絶国際デー」行動 12:00 桜木町駅前
- 9月27日（水）年金裁判口頭弁論 10:45 東京地裁
- 10月1日（日）母港化に反対する 10.1 横須賀集会 11:00 ヴェルニー公園

2017年 全県国保改善交流集会

～国保に権利としての社会保障の確立を～

2017. 10. 14(土) 午後 1:30～5:00
午後 1:00 開場

<講演> 長友薫輝氏 (三重短期大学教授)

「国保の都道府県単位化で何が変わるか」(仮題)



<基調報告と討論>

- 市町村国保調査の概要と今後の取り組み提起
中屋重勝氏 (県社保協・医療保険改善委員会委員長)
- 神奈川県における国保都道府県単位化の状況
神田敏史氏 (神奈川県職労連委員長)
- 各地の取り組み報告

- ★国保の都道府県単位化は、どこまで進んでいるの？
★払える国保料に引下げを、自治体交渉のポイントは？
- いよいよ 2018 年度から国保の都道府県単位化がスタートします。それに向けて、県から試算が出されています。本集会では市町村国保の実態調査報告を行い、国保の都道府県単位化で何が変わるのか、利用者国保料引下げにつながる自治体交渉のポイントなどを議論します。

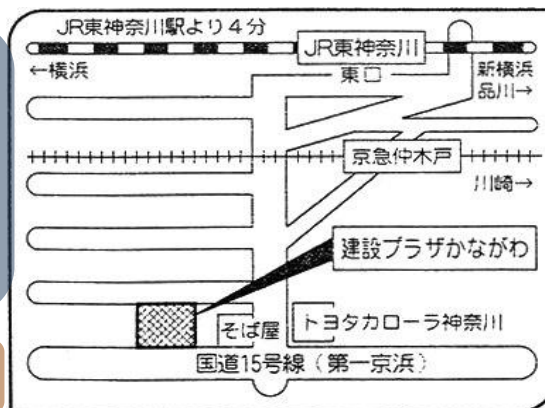
建設プラザかながわ 2F ホール

横浜市神奈川区神奈川 2-19-3

☎045-453-9701

- JR 京浜東北線・「東神奈川駅」下車徒歩 5 分
- 京急・「仲木戸駅」下車徒歩 3 分

資料代:ひとり500円



主催: 神奈川県社会保障推進協議会(神奈川県社保協)

横浜市中区桜木町 3-9 ☎045-201-3900 FAX・045-212-5654 mail:info@kanagawa-shahokyou.jp